

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

宣言日 2022 年 2 月 24 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿		
事業系一般廃棄物及び（特別管理）産業廃棄物収集運搬業の事業活動を通じて、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の発展に貢献します。		
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動		
環境に与える影響を低減するために、次の事項に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> 顧客から排出される廃棄物を適正に処理する。 顧客から排出される廃棄物のリサイクルを推進する。 廃棄物処理に対する顧客信頼性の向上に努める。 業務効率の向上により資源およびエネルギーの有効活用を努める。 		
目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組内容	2022年12月31日までの取組目標
	<ul style="list-style-type: none"> 勤務開始時の健康チェック（体温・アルコール・健康状態） 定期的な健康診断の実施 	継続します。
	<ul style="list-style-type: none"> 従業員に衛生管理者や環境学習指導員などの資格取得の援助をしている 	継続実施します。 年間2名の資格取得を目標とする。
	<ul style="list-style-type: none"> 育児休暇後の復帰制度等の整備による女性従業員離職率の低減 	継続します。
	<ul style="list-style-type: none"> 従業員への給食費補助 	継続します。
	<ul style="list-style-type: none"> 定年後の高齢者を積極的に施設の常駐分別作業員として雇用している 	弊社工場にて特別支援学校卒業者の雇用
	<ul style="list-style-type: none"> 効率よい廃棄物回収ルート構築 毎月の車両の走行距離・燃料使用量・燃費を計算しグラフ化している 車両にドライブレコーダーを付けて運転状況の確認・指導を行っている 燃費の良いバイク通勤を認可している（立地上、公共機関による通勤は困難） 	燃料費高騰の要因もあり、ルート回収の効率化や燃料使用量の削減をより進めていく。 月次で燃料使用量の目標値を定めて、より一層の効率化を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物回収時の分別確認の徹底、顧客への分別指導 計量器付き車両にてゴミ回収量のデータ収集・管理 商業施設へのゴミ計量器導入の推奨、計量器による顧客自身の排出量把握 社内のデータ収集・保管システムを紙ベースから電子化 顧客との契約書をA3裏表印刷の一枚にまとめ、紙資材の簡素化 使用する備品・資材の一部をリサイクル品にて運用（再生プラスチック製ゴミ袋） 	収集運搬時の分別収集の推進でリサイクル率1%アップ 中間処分時の分別の徹底でリサイクル率1%アップ 社内管理資料の電子化を新たに1件実施
	<ul style="list-style-type: none"> 非常時に対する水の備蓄（ウォーターサーバーを利用） 	継続します。
	<ul style="list-style-type: none"> 顧客への毎月の廃棄物排出量データの提示・排出量減量への提案 顧客への紙マニフェストから電子マニフェストへの移行提案・推進 	災害時に大企業と連携して廃棄物の回収網を強固にする契約を締結

（記載上の注意）

- 「目標に関連する取組内容」は、**3つ以上のゴール**に関する取組を記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、**出来る限り定量的に記載**してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、**毎年1月に達成状況を報告**していただきます。

様式第1号（第5条関係）

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	株式会社 岩本商店	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	5 事業所
2	業 種	14. その他	
3	従業員（構成員）数	48 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	岩本 匡史
5	所 在 地	〒 420-0955	
		静岡市葵区芝原25-34	
6	ホームページURL	https://www.recycle-iwamoto.co.jp/	